

## 定 時 株 主 総 会



当社では第41回定時株主総会を令和4年6月17日（金）共栄火災ビル大会議室において開催いたしました。当日は、株主総数73名中、73名（議決権行使書含む）のご出席を賜り、次の報告事項についてはご報告し、決議事項についてはご審議いただき、全議案とも原案通り承認可決されました。

## ■ 報告事項

当期の日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言等が断続的に発出され、経済活動の抑制やインバウンド消費の激減の影響を受けましたが、その後、行動制限の緩和に伴う個人消費の持ち直しが見られたものの、原油価格の高騰や急激な円安、ウクライナ情勢の深刻化などにより、不透明な状況となりました。

また、当社の関連する信用金庫業界においては、地域金融機関の強みを発揮しにくい状況の中、疲弊する地域経済の活性化ならびに取引先企業の経営支援・課題解決に向けて、資金繰り支援をはじめ、ビジネスマッチングの推進、国の補助金制度を活用するためのコンサルタント・手続き支援などを行い、信用金庫と取引先の関係強化が図られました。

一方、当社では、信用金庫の重要業務委託先・社会インフラ（決済関連システム他）提供事業者として、各種システム・サービスの継続・安定稼働を最重要事項と捉え、緊急事態宣言下においてはBCP緊急対策本部での日々の運用状況・勤務体制の情報共有や適宜必要な感染防止策の実施により、二つの事業部の業務継続に注力するとともに、設立40周年（令和4年3月1日）を迎えるにあたり、株主信用金庫、関連・

提携先、SIS、社員の『よん重<sup>\*1</sup>良し』を念頭に、より一層の飛躍を目指し、経営基盤強化、企業価値向上に努めてまいりました。

※1 よん重=40（周年）

信金業務サポート事業では、コロナ禍ゆえの時間を有効活用し、従来にも増し全社を挙げて信用金庫向けシステム・サービスの効率化・業務改善、経年システムの見直しに取り組み、その一つとして、ATMコールセンター業務では、受電状況（ピーク日・ピーク時間・電話内容等）を分析し、運用管理や手順の見直しによる放棄呼率（オペレータに繋がる前に顧客が切断した電話の割合）の低減や電話対応品質向上、警備連絡のシステム化による受電件数削減などを図り、より一層お客様に寄り添うコールセンターといたしました。

また、同業他社との協業によるスケールメリットの享受と最新技術・特許による大幅な自動化（オペレータ未介入）によりコスト低減を実現する「新しんきん為替集中サービス（為替BPOサービス）」では、期末現在41金庫がサービス利用を開始し、令和4年度末までには全国84金庫が稼働を予定しており、全国の約1/3の信用金庫が利用する規模のサービスとなります。

決済関連事業における窓口収納サービスでは、20年以上に亘るMMK設置店舗数・収納件数などの実績や知名度によってドラッグストア等の追加導入が進み、1万店舗超（10,048店舗）となりました。取扱件数は前期比18%増の約2,912万件となり、他業界からの安定的収益確保により、より一層の経営基盤強化を図るとともに、地方税統一QRコード対応に向けては、全国信用金庫協会、SSC、しんきん共同センター等と調整いたしました。

その結果、信金業務サポート事業における満期案内DM・自動機監視サービス・アンパンマ

ン・共同調製等の売上減があったものの、為替集中サービスの利用金庫増、決済関連事業におけるMMK設置店舗・収納件数増に伴う売上増により、売上高は目標47億円（新会計基準適用）に対し50億9百万円、当期純利益は、為替集中サービスの新旧システム並行稼働に伴う費用増があったものの、利益率の高いMMK設置店舗基本料・収納手数料の大幅増により、前期とほぼ同様の2億3千万円となりました。

これも偏に株主信用金庫および関連団体・関連会社ならびに関係先の皆様のご支援、ご理解、お引き立ての賜物と深く感謝申し上げます。

## ■ 決議事項

- 第1号議案 第41期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）承認の件
- 第2号議案 剰余金の処分の件
- 第3号議案 役員賞与支給の件
- 第4号議案 取締役全員任期満了につき14名選任の件
- 第5号議案 監査役1名任期満了につき選任の件
- 第6号議案 退任常勤取締役・常勤監査役に対し退職慰労金贈呈の件

以上決議事項の第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案、第5号議案および第6号議案について、原案通り承認可決されました。

## 株式会社しんきん情報サービス 役員

令和4年6月17日現在

代表取締役会長	矢澤 孝太郎	亀有信用金庫	理事長（重任）
代表取締役社長	飯吉 真		（昇任）
代表取締役専務	古佐賀 正泰		（昇任）
常務取締役	小見 和憲	総務部長兼務	（昇任）
取締役	小森 哲	佐原信用金庫	理事長（重任）
取締役	澁谷 哲一	東京東信用金庫	会長（重任）
取締役	八木 敏郎	多摩信用金庫	理事長（新任）
取締役	大前 孝太郎	城北信用金庫	理事長（重任）
取締役	伊藤 康博	朝日信用金庫	理事長（新任）
取締役	平松 廣司	かながわ信用金庫	理事長（重任）
取締役	五味 節夫	山梨信用金庫	理事長（新任）
取締役	埴 由博	水戸信用金庫	理事長（重任）
取締役	西 湊 精一	三条信用金庫	理事長（新任）
常勤取締役	志田 成之	決済ビジネス推進部長兼務	（新任）
常勤監査役	山口 覚		（新任）
監査役	木村 浩	佐野信用金庫	理事長
監査役	田中 鈴生	松本信用金庫	理事長
監査役	土屋 武司	足立成和信用金庫	理事長

なお、馬場英一代表取締役社長、矢部甲子取締役、阿部隆取締役、宮永雅史常勤監査役は6月17日開催の定時株主総会をもって退任いたしました。在任中賜りましたご厚誼に対し厚く御礼申し上げます。

当社では、この新体制のもと株主信用金庫のより一層のご期待に添うよう精励いたす所存でございますので、今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 自動機監視サービス お客様満足度向上に向けた取り組み

「つながりやすい、お待たせしない、迅速かつ丁寧な対応」を目指して

信用金庫のコールセンターとして、お客様対応により一層注力するため、しんきんサービスセンターでは、受電数削減および効率化に取り組んでまいりました。今後も引き続き、さらなるサービス品質向上に努めてまいります。

- ATM貼付用POPの無償配布を実施（2021年6月、9月）  
紙幣ジャムやカード・通帳等の取忘れへの注意喚起
- 外線電話受付の音声ガイダンス変更（2021年12月～）とナンバーリクエスト採用<sup>※1</sup>（2022年3月～）  
紛失盗難専用であることの明確化、いたずら電話の防止  
※1：電話番号を通知しないでかけてきた相手に、電話番号を通知してかけ直すよう音声メッセージで応答するサービス
- ATMの現金装填、精査等に係る警備電話連絡を自動受付化（2022年2月～）  
全通話数の20%弱を自動受付し、オペレータがお客様対応により注力
- ATM電源投入時間の繰上げ依頼（2022年2月～4月）  
早朝のATM障害発生時の復旧に要する時間を確保

さらに、クラウドサービスやAIによる音声データ認識、ビッグデータ分析などを可能とする次世代自動機監視システムの構築を進めております。（2023年9月稼働予定）

## 手形・小切手発行サービス QRコード印字機能のご提供

現在51金庫でご利用いただいている手形・小切手発行サービスでは、2022年11月からの電子交換決済開始に向け、当社の発行システムに、QRコード印字機能を無償（当社負担）で追加いたします。

信用金庫におかれましては、手形・小切手の発行枚数が減少している中、スケールメリットを活かしたコスト削減およびQRコード印字にも対応できる本サービスご利用のご検討をお願いいたします。

### <券面印字の新レイアウト>

The diagram illustrates the updated layout of a check. Key features include:

- QR Code:** A QR code is printed in the bottom right area, with a callout box stating "QRコードを印字" (Print QR code).
- Text Adjustments:** Callout boxes indicate that "各項目の印字位置を約4mm左に移動" (Move the printing position of each item about 4mm to the left) and "署名鑑の印字位置を約7mm左に移動" (Move the printing position of the signature and seal about 7mm to the left).
- Check Details:** The check form includes fields for "小切手番号 AA 12345", "振出日", "金額", "残高", "渡先", and "摘要". It also features the "SIS信用金庫 本店" logo and the "信金" (Shinkin) seal.
- Security Features:** A "拒絶証書不要" (No need for refusal certificate) stamp is present, along with a "全国 5001 0051-001" stamp.



## 今後のイベントスケジュールについて

SISでは、金融ICT情報発信とリスク管理態勢「見える化」の取り組みとして、下期に各種セミナー・展示会・説明会などを予定しております。信用金庫の多数のご参加、ご来場をお待ちしております。

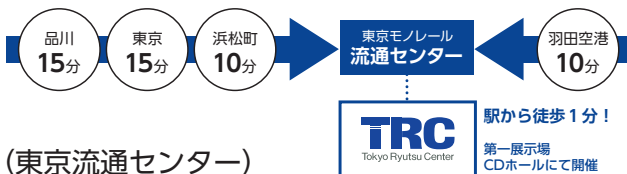
2022

10  
26~27  
(水)~(木)

第20回  
しんきんコミュニケーションフェア2022

これからどうなるの / これからどうするの

信用金庫のデジタル変革 (東京流通センター)



今回は、当社が設立40周年を迎え、20回目の記念開催となり、『これからどうなるの・これからどうするの 信用金庫のデジタル変革』をメインテーマに、最新のソリューションや各種システムを体験できる場として、全国の信用金庫へ幅広くご案内し、新型コロナウイルス感染対策を徹底した上で、多数のご来場をいただく予定です。

### <Webによる事前登録のお願い>

本フェアは、入場無料の事前登録制です。ご来場に際しては、Webでの事前登録をお願いいたします。コロナ禍での開催においても、安全・安心な展示会運営のために、何卒ご協力をお願いいたします。

※事前登録については、9月上旬頃の開始を予定しております。

特設サイトURL : <https://www.shinkin-sis.co.jp/event/scom2022/> (7月上旬サイトオープン)



特設サイト

11  
10~11  
(木)~(金)

FIT2022 金融国際情報技術展 (東京国際フォーラム)

日本金融通信社 (ニッキン) が開催している日本最大の金融ITフェアFIT展 (東京開催) に出展いたします。



12  
2  
(金)

第21回 自動機監視サービスユーザー会 (品川シーズンテラス)

自動機監視サービスの加入信用金庫を対象として、しんきんサービスセンターの取り組みや顧客対応事例等の報告を行っております。



2023

1  
20  
(金)

令和4年度 しんきん情報研究会 (東京コンファレンスセンター品川)

最新の情報技術に関するセミナーと金融機関・企業の視察や時局に応じた幅広い分野から経営に役立つ講演会を開催しております。



2  
下旬

第9回 リスク管理態勢説明会 (書面開催)

信用金庫の委託先管理対応の一環として、当社のリスク管理への取り組みを報告しており、書面による開催を予定しております。

※上記日程ならびに開催形式については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、やむなく変更になる場合もございます。

開催中止

今年度の次の催しは、コロナ禍の状況に鑑み、感染拡大防止・安全最優先の観点から開催を中止いたしました。

第7回 重要業務の外部委託先現地視察会

第33回 SIS海外ITセミナー (サンフランシスコ・シリコンバレー)

## SIS ニュース No.63 2022年7月1日発行

株式会社 しんきん情報サービス  
URL : <https://www.shinkin-sis.co.jp>



〒108-0075 東京都港区港南1-8-27 日新ビル12階  
総務部 Tel.03-5462-7081